

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【公開番号】特開2017-214397(P2017-214397A)

【公開日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-047

【出願番号】特願2017-130030(P2017-130030)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 K	38/16	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
C 0 7 K	14/31	(2006.01)
C 0 7 K	16/12	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/00	Z N A H
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 K	38/16	
A 6 1 P	37/04	
C 0 7 K	14/31	
C 0 7 K	16/12	

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月18日(2018.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療的に有効な量の、長さが300アミノ酸残基以下であり、SEQ ID NO:1
1のアミノ酸残基48～291のアミノ酸配列、または、SEQ ID NO:11のア
ミノ酸残基48～291に対して90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む、単離さ
れたLukEポリペプチドと、

薬学的に許容される担体と
を含む、組成物。

【請求項2】

前記単離されたLukEポリペプチドがSEQ ID NO:11のアミノ酸残基29
～311、または、SEQ ID NO:11のアミノ酸残基29～311に対して90%
の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記単離されたLukEポリペプチドがSEQ ID NO:11のアミノ酸残基48
～301、または、SEQ ID NO:11のアミノ酸残基48～301に対して90%
の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記単離されたLukEポリペプチドが200～250アミノ酸長である、請求項1に
記載の組成物。

【請求項5】

前記単離された L u k E ポリペプチドが 250 ~ 300 アミノ酸長である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

300 以下のアミノ酸長であり、SEQ ID NO : 22 のアミノ酸残基 46 ~ 307 のアミノ酸配列、または、SEQ ID NO : 22 のアミノ酸残基 46 ~ 307 に対して 90% の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む、単離された L u k D ポリペプチドをさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

治療的に有効な量の、300 以下のアミノ酸長であり、SEQ ID NO : 22 のアミノ酸残基 46 ~ 307 のアミノ酸配列、または、SEQ ID NO : 22 のアミノ酸残基 46 ~ 307 に対して 90% の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む、単離された L u k D ポリペプチドと、

薬学的に許容される担体と
を含む、組成物。

【請求項 8】

前記単離された L u k D ポリペプチドが SEQ ID NO : 22 のアミノ酸残基 27 ~ 312、または、SEQ ID NO : 22 のアミノ酸残基 27 ~ 312 に対して 90% の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記単離された L u k D ポリペプチドが SEQ ID NO : 22 のアミノ酸残基 46 ~ 312、または、SEQ ID NO : 22 のアミノ酸残基 46 ~ 312 に対して 90% の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記単離された L u k D ポリペプチドが 250 ~ 300 アミノ酸長である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記組成物の前記単離されたポリペプチドが、免疫原性担体分子に連結されている、請求項 1 または 7 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記免疫原性担体分子が、前記単離されたポリペプチドに共有結合または非共有結合で結合している、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記免疫原性担体分子が、ウシ血清アルブミン、ニワトリ卵オボアルブミン、キーホルリンペットヘモシアニン、破傷風トキソイド、ジフテリアトキソイド、サイログロブリン、肺炎球菌莢膜多糖、CRM197、および髄膜炎菌性外膜タンパク質からなる群から選択される、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 14】

溶血素抗原、プロテイン A、血清型 336 多糖抗原、コアグラーーゼ、クランピング因子 A、クランピング因子 B、フィブロネクチン結合タンパク質、フィブリノーゲン結合タンパク質、コラーゲン結合タンパク質、エラスチン結合タンパク質、MHC 類似タンパク質、多糖類細胞内接着、溶血素、溶血素、パントンバレンタインロイコシン、ロイコシジン A、ロイコシジン B、ロイコシジン M、表皮剥脱毒素 A、表皮剥脱毒素 B、V8 プロテアーゼ、ヒアルロン酸リーゼ、リパーゼ、スタフィロキナーゼ、エンテロトキシン、毒素性ショック症候群毒素 - 1、ポリ - N - スクシニル - 1 6 グルコサミン、カタラーゼ、ラクタマーゼ、ティコ酸、ペプチドグリカン、ペニシリン結合タンパク質、走化性阻害タンパク質、補体阻害因子、Sbi、5 型抗原、8 型抗原、リポトイコ酸、および、宿主分子を認識する微生物表面成分からなる群から選択される 1 つ以上のさらなる黄色ブドウ球菌抗原をさらに含む、請求項 1 または 7 に記載の組成物。

【請求項 15】

アジュvant をさらに含む、請求項 1 または 7 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記アジュバントが、フラジエリン、フロイント完全または不完全アジュバント、水酸化アルミニウム、リゾレシチン、フルロニックポリオール、ポリアニオン、ペプチド、油乳剤、ジニトロフェノール、イスコマトリックス、およびリポソームポリカチオンDNA粒子からなる群から選択される、請求項15に記載の組成物。